

2004年6月29日 栃木県小川町における突風被害

東京工芸大学 工学部

松井 正宏

田村 幸雄

2004年6月29日(火)20時15分頃、栃木県小川町にて、突風による被害が発生した。とちぎテレビ(<http://www.tochigi-tv.jp/>)によれば、小川町と馬頭町で、家屋損壊や床下浸水などの被害が出た。けが人はいなかった。6月30日に被害状況を調査した小川町総務課によると、小川町では役場を中心とした直径1.5キロの範囲で被害がひどく、電線が切断して130世帯が29日午後8時半から4時間停電したほか、36の住宅と27の納屋などで屋根がめくれるなどの損壊があった。また、3カ所でブロック塀、21カ所で木が倒れるなどの被害があり、小川中学校では自転車置き場のトタン製の屋根が約100メートル飛ばされた。一方、馬頭町小口では沢の水が増水し、3世帯で床下浸水したがけが人などはいなかった。宇都宮地方気象台は、現地調査の結果から、今回の突風はフジタスケールF0～F1のダウンバーストによるものであると推測した。

被害調査は同年7月1日に実施した。小川町役場によると、特に大きな被害は報告されていないとのこと。被害は、図1に示すように、小川町を中心に直径2km程度の範囲に広がっている。ほぼすべての被害が、西からの風によると思われる。すなわち、樹木の倒壊方位、被害箇所の飛散方位などが、西から東へ向かっていた。また、突風は5～6分続いたが、これに先立って、降雨、降雹があったとのことである。雹の大きさは2センチメートルほどであった。

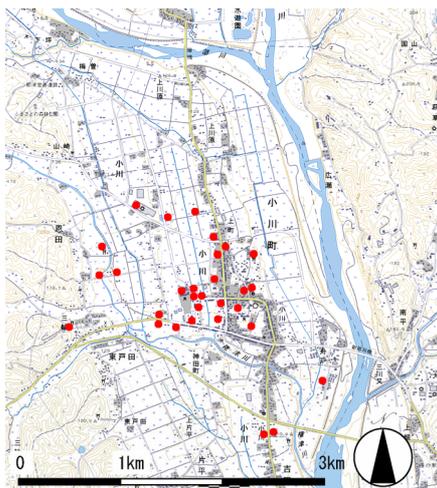


図1 被害発生位置

写真1 温泉神社境内の倒木



写真2 小川中学校 駐輪場の底の損傷



写真3 小川中学校 物置小屋の屋根飛散



写真4 御霊神社倒木による屋根損傷



写真5 御霊神社倒木による骨組の傾斜



写真6 三輪神社 小屋の崩壊



写真7 三輪地区 資材置き場のトタン屋根損傷



写真8 三輪地区 蔦の葉の降雹による損傷

謝辞

調査にあたり、現地の多くの方々にご協力いただきました。ここに謝意を記します。
(地図は、「国土地理院発行の2万5千分の1地形図」を加工したものである。)